



REHACARE 2017 国際リハビリテーション・福祉・介護機材展
ファイナルレポート
2017年10月4日～7日

REHACARE 2017 : 記念の年に成功裏に開催

同展に参加した **39,000** 名のビジターは、自立した生活に関するサポートやノウハウを展示会とコンファレンスで情報収集。ビジターの高い関心を集めたのはモビリティ、更にホームケアに関する製品や情報、進化する高齢者向け居住設備はコンファレンスでの注目トピックとなった。



毎年デュッセルドルフで開催される福祉・リハビリ機器などの国際見本市 [REHACARE 2017 \(国際リハビリテーション・福祉・介護機材展\)](#) は、10月7日に4日間の会期を終了した。今回も同展は、身体障害者や介護需要、慢性疾患、高齢者向け、などの課題を抱える

関係者に対し、優良、高品質な福祉、介護製品や包括的な相談サービスを展示発表した。70 か国から約 39,000 名の専門家、業界関係者、またエンドユーザーである身体障害者やその家族が欧州最大の福祉介護機器展へと参加した。出展者は 39 か国から 780 社を数え、そのうち約 100 の出展者は自立支援や社会福祉関係の団体や組織であり、これら約 100 の団体を含む全ての出展者は、イノベーティブな製品、サービスの出展、また各種相談や障害やそれに関わる法令などの情報を提供した。

「昨今の人口統計からもリハビリ用の介護製品、サービスに関する需要人口は増加しており、高齢者サービスへの関心も高まっている。REHACARE INTERNATIONAL 2017 はより長く自立生活が続けられる、その可能性を示すショウケースとして完璧な商談の場であった。また出展者のプレゼンやフォーラムでの情報やコンテンツは参加者から好評をいただいた」と主催者メッセ・デュッセルドルフの取締役、J.シェーファーがコメントした。

今年設立 50 周年を迎えたドイツの全国的な身体障害者の団体である連邦自助協議会 (BAG Selbsthilfe) は、今回 40 年の節目の年を迎えた REHACARE において、

初開催時より、リハビリ、介護などの専門知識の提供など多大な貢献をいただいている。同団体の専務理事である Dr. M.ダンナーは福祉機器の多数のイノベティブな製品ラインナップに感銘を受けており、今回の開催に関し次のように述べた。「40周年を迎えた同展では、ここ数年来、リハビリ、介護製品などの素晴らしい進歩、発展を目の当たりにしています。今年は改めて多数のイノベティブな製品や情報が発表されましたが、特にデジタル化、自動運転、素材の進化、製品の使いやすさが強く印象に残っています。REHACARE はリハビリや介護福祉機器に関するトップ・イベントとしての重要性が改めて証明されました」

REHACARE 2017 での大きな注目テーマは例年通りモビリティだった。車いす、電動カート、歩行器や福祉車両関連など、出展者は身体障害者や高齢者向けの日常生活の移動などに必要な製品、設備に関する最新テクノロジーを包括的に展示した。例えばスマート・グラスで操作できる車いす、アシスト・ロボットやデジタルシステムとリンクしたジョイスティックで、ブレーキ、ハンドル操作が可能な車などがその例だ。全体的にも間もなく販売可能な製品コンセプトの発表や試作品の展示を行う海外出展者は増加している。

今回ハイライトの一つはチューリヒにある The Swiss Federal Institute of Technology (ETH Zürich) による CYBATHLON Experience だった。CYBATHLON はロボット工学等の最先端技術を応用した義肢などを用いて障害者が競技に挑む国際的なスポーツ大会で、昨年スイスで初開催された。今回の体験イベントでは、パワードスーツやロボットアームを装着した人々による競技を通じ、どのアシストシステムがベストか着目された。例えば参加競技者は2つの異なる障害コースを車いすとアシスト・ロボット、それぞれで走ることで、各アシストシステムの長所、短所が様々な点で明らかになり、開発サイドへフィードバックされるものでもあった。



日本から今回は7社（前回2016年：8社）の出展参加があり、各社ともヨーロッパを中心とした海外マーケット開拓を目指したコンセプトの製品を展示発表し、商談を行った。おおむね商談は順調で、受注の獲得や今後に期待が持てる案件もあったと報告されている。

そのうち 8 年連続で高機能性クッションを出展した[株式会社加地](#)は次のようにコメントした。

「小規模開催年であったが、来場者は多いと感じました。ホール 1 と 2 が工事中であったため、人の流れがどうなるか心配していましたが、トラフィックもありました。

連続出展の手ごたえは年々感じており、今年は欧州や中東からのエンドユーザーさんがブースに会場下さるとい嬉しい出会いもありました」

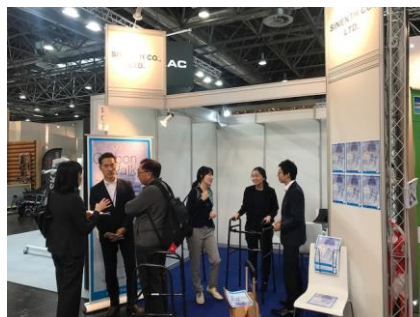


3 年連続で歩行杖を出展した[株式会社シナノ](#)のコメント

「ヨーロッパ中心の多数の代理店・小売店と面談できたこと、また現地情報等のヒアリングができたことで、次へのステップにつなげることができると感じた」

2 年連続で軽量歩行器を出展した[株式会社シンエンス](#)のコメント

「今回で 2 回目の出展となったが、昨年より多くの海外企業様が当社ブースに立ち寄っていただいた。各国の福祉用具に対するニーズや国の施策など、今後の展開に役立つ情報の交換も行え有意義であった。案件については早速フォロー営業を行い、実際のビジネスに繋げていきたい」



次回 REHACARE は 2018 年 9 月 26 日～29 日にデュッセルドルフで開催される。

REHACARE に関する日本でのお問い合わせは：

（株）メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン 担当：服部

Tel.03-5210-9951 Fax.03-5210-9959

mdj@messe-dus.co.jp <http://rehacare.co.jp>